



區長排斥で紛糾した 鎌田町圓満に解決す

昨日第三小學校に會合せる
兩者の互讓で當分現狀維持
平町十八區(鎌田町)に於ける前區長並に現區長及び
行政區長仲野伊重氏を排斥對派の草野七五三之助氏
斥せんとする紛糾は屢報の外數名を第三小學校に招き
如く區長派の結束も容易に遠藤助役
崩れず反對派との軋轢ます
ます猛烈を極め互に鞭を飛
ばして鎗を削つてゐる
調停の 衝に當つて
各々の主張を互讓し區長派
の陳情書を收下する一方
はして鎗を削つてゐる
將來を 氣遣ふ町内に於ては區長から出してあ
長老連が仲裁には入つたが
依然相譲らざる現狀をもつて
悉く撤回して煙滅となし
除して手をひく所となり愈
よ悪化の形勢に陥りたるた
に決し
圓満なる 表面解決
者がひそかに長老に任せて杞憂された
に此の圓満解決を苦慮しては
どの紛糾なく無事に終り
むたが十九日午後兩關係に告げ

東北の名刹常福寺に 壯嚴なる梵鐘獻納式

平町武田こう焄其他の熱心
なる信仰で十九日寄納さる
東北の名刹石城郡關井嶽の寄附を受けた數千圓を投
樂師常福寺に於ける梵鐘はに豫ねて京都市の名匠に鑄
中町新道通り新藤屋支店旅造を託されてゐたが總長白
館主武田こう焄及び同町の八十貫の見事なものが愈よ
富豪諸橋さだ子刀自の信仰竣工到着したので十九日朝
により改鑄寄納を
計劃され 地方同志
青年團 の總出を以

平署の移動

平署員左記に對し十九日附を以て移動があつた

平署會計係(部長)	近
本 田	近
縣警務課(會計)	高
平署勤務巡查部長	高橋 一郎
郡山警察署へ	
平署刑事巡查	武 山
巡查部長に昇進して二本	松警察署へ
高田警察署(巡查部長)	草刈 長三郎
二本松署(巡查部長)	梶 田
亮	
平署へ	
平署から轉任の三氏は	

南町の松村病院で 今朝入院患者縊死

胃腸病の前途を悲觀し たる五十嵐炭礦の坑夫

中町南町松村病院七號病室に於て
入院してゐた石城郡内郷
村五十嵐炭礦坑夫で郡内永
戸村の合戸字浮谷三七阿部
善松(二十日午前八時
頃)

看護に 来てゐた娘 が町内の親族を訪ねて出た 不在中に於て病室の壁際に 火箸を打ち込み手拭を以て縊 死を遂げぬたを發見大騒 ぎとなつて手當を盡した 効なく中署の検視を受けた 老衰のため打倒れた一人旅 の老人双葉郡富岡町大字佛 子前川五番地北村敏行(一 去十七日入院したもの こは九日朝から行旅病者と て妻子五名を有し生活は大して 矢吹醫師により平町懇

旅に死せる 老 劍 客

果して由緒あ
る者かどうか

内郷村長の隣家から 十九日夜放火の疑ひ

平署に於て目下取調中
石城郡内郷村の御厩字宿三
技規定によるトーナメント
五農直衛野木彌三郎(二)は
式で参加希望者を来る二十
方居宅北隣の風呂場から十
九日午後十時十五分頃放火
し逸早く發見したる家人其
他附近のものが駈つけ消
火に盡したので大事に至ら
ず消止めた損害約三十圓で
原因取調中であるが風呂場
の設備その他何人にも同所
から放火しように認められ
ないの或は放火でないか
と疑はれてゐる

石城郡内 卓球大會

二十三日平第
三小學校にて
平町第三小學校では同町卓
球コートを寄贈されたので
此の披露をかねて来る二十
三日午前十時から同校講堂
に於て郡内卓球大會を開催
生活費に使用して僅か五圓を
の等であるが競技は神宮競
死して就縛
圓を残して就縛
二十七圓の中五
圓を残して就縛

生活難から 板間稼ぎ

石城郡湯本町の湯本字三國
居住東京市下谷區御徒町二
七生れ野口政雄(二)は去十
五日午後三時半頃居町字三
國の雀の湯事大木半四郎方
風呂場から入浴中の同町鈴
木長作所有の募口現金在中
二六圓八十三錢を窃取し
たるを平署の捜査によつて
球コートを寄贈されたので
此の披露をかねて来る二十
三日午前十時から同校講堂
に於て郡内卓球大會を開催
生活費に使用して僅か五圓を
の等であるが競技は神宮競

泥酔して 器物き棄 平の人事

平町宇古銀治町ラムネ製造
業方の長男佐藤一男(二)は
十九日午後十一時頃前後不
覺に泥酔の結果同町二丁目
裏新田町通り料理店壽遊亭
に暴れ込み器物毀棄を働い
たので同夜平署に檢束翌日
説諭の上釋放された
▲出生
平町宇田町六三 平野鐵之助長女
榮子十一月八日午前一時
▲死亡
平町宇田町二五 味岡ハルイ(二)
十一月十八日午後七時二十分
平町宇田町一四 小林マツ(二)
十一月十五日午後十一時三十分

社 告

各位の御愛讀、御後援によりま
して社運漸く好況に向ひ平町字
南町廿番地に專屬工場を設くる
事が出来ました紙面も漸次改善
したいと存じて居ります此上こ
もに御鞭撻を賜らんことを御願
致します
昭和五年十一月
新しいわき新聞社

新しいわき新聞社

尙新聞以外の印刷物も皆様の御高恩
に酬ゆる一端として体裁よく敏活に
破格の廉價を以て應じます多少に拘
らず御用命を御願致します

産業

綿羊飼育法

毛用と肉用

つかせ、背を人の膝間に固定して頭頸から初め、腹側面、四肢に及び背面に進み髻部にて終る、一頭分の被毛が枚となつてとれる様になるのが本式である、この一枚を「フリース」と云ふ。フリースを一纏めに包装するのめれば、周囲の劣等毛と中央の大部分の上等毛を區別するものもある、羊毛は一年一回が普通で長毛性は二回やることもある、我が國では六月頃一回分二回ならば四月と九月である (終り)

薬浴 は必ず實施するがよい、皮膚にかいせんその他の寄生虫がつき易いからである、甚だしいのは皮膚に孔をあけ、血液を吸ひつくすものあり、左程の害がなくとも毛の生長を劣化する、手輕に消毒するには煙草の莖一二〇分を一斗二升五合の湯で浸出し、これに硫黄華三十分を入れ、華氏一二〇度位にして羊をその中へ浴させる、通常剪毛後一ヶ月位を経た夏季に於て一回行つてゐる、浸液を丸槽や角箱に入れ羊体を全身につけて、背を低にし二人で前後肢を支へる、二分後にやめる。

洗毛と剪毛 洗つて後にするのが運搬に便である、洗ふ水は溜水、雨水、流水で湧水は用ひぬ方がよい、若し硬水を用ふるなら石鹼かソーダ水を少し混せる、水温は攝氏十七度乃至三十五度、晴天の日に行ふ、毛は強く揉むことは嚴禁である、洗毛後は日かげの室内で自然に乾かす。

剪毛は、我が國では日本鉄の大きい様な形の毛器を握り人力で行つてゐる、一日に一人で三十頭は切れる、切り方は羊をば背を下にして寝かすか、髻を地に

平町 藤沼醫院 電話七〇五番

入院應需 藤沼醫院 電話七〇五番

紺屋町

召上りせ

安くて……
うまくて……
品がよい……

カフエー
タヒラ食堂



電話二六〇番

七五三御祝着
御婚禮御結納

福引大賣出し

伊關吳服店

平町二丁目角
電話三三三番

十一月二十日より五日間
舊十月一日

一等	五分
二等	五分
三等	五分
四等	五分
五等	五分
六等	五分
七等	五分
八等	五分
九等	五分
十等	五分

一本も空くじなし

平町田町通電話六五六番

玉屋洋品店



痔療散

最近の發見薬を勵む

田中豊彦先生創製の「痔療散」

定價 三日分 九拾圓
二週間分 貳圓八拾圓

平町代理店 山野邊藥局

平町五丁目角

元 詰
H. N. 酒
G. H. 葡萄酒
I. P. 1.10

西村屋藥舖 (電三)

平二

鶴印 特製 最中

大鶴屋菓舖子

電話七九番 町平城野

高島屋

價之低 質之高

高島屋

平町五丁目

模範縫裁

高島屋の洋服


平町驛前 電話三八六番

既製部

オーバー 五圓から卅圓まで

二重廻し 七圓以上

注文部は各種破格の勉強



安いからとて品は落てません 良いか、悪いか 試してごらん

小笠 銘茶 大角園 特約

總てが お徳用向

壽仙二十錢
福壽十八錢
焙茶十五錢
番茶十五錢
川柳十二錢

何れも四半斤袋入 正味四十目

瓶詰。酒洋和詰
類子菓洋。貨雜

店商谷半

町大町平 (隣院病松若)

プラトン 萬年筆

プラトン インキ

特約店 山野邊藥局

平町五丁目